

秋冬不振でMD改善に力

TSIホールディングス 一部ブランド移管も グループ再編軌道へ

TSIホールディングスは15年2月期にグループ再編するが、東京スタイルやサンエー・インターナショナルグループの13～14年秋冬商戦の苦戦などが利益計画に響いたことから収益改善のための構造改革に一層力を注ぐ。

「ズシヨップ」「シルスチユアード」「アンドバイピアード」が計画に比べて大幅に苦戦、東京スタイルもキャリアゾーンが厳しく、13年3～11月が営業赤字となった。いずれも重衣料依存から脱却し、中軽衣料を強化する改善に十分取り組めなかったことが要

因と見ており、MD改善を重点にサンエーではすでに不振3ブランド立て直しなどの対策に乗り出している。東京スタイルは不振ブランドの立て直しに加え、経費削減で来期20億円の改善が見込めるほか、夏物を中心に消化率向上に力を入れ、この3年で下がって

きた粗利を上げる。前期から今期末の2年間で東京スタイルが685店、サンエー・インターナショナルグループで256店の廃止ブランド店、不採算店が退店する見込みで、来期に収益効果が大きく表れる見通しだ。来期はこの間の新ブランドの育成とともに既存ブランドの健全化も徹底して進め、不採算店の撤退も引き続き推進する。3月の再編では、サンエーの「ナチュラルビューティー」「ボツシユ」「ピンキー&ダイアン」が東京スタイルに移管される。

（以下は本文の続きまたは関連記事の抜粋）